

登録コード	ASQ02500	開講年度	2026					
授業科目	山岳環境保全学特別演習					担当教員	福山 泰治郎	
英文授業名	Advanced Seminar for Conservation of Mountain Environment					副担当	城田 徹央・安江 恒・荒瀬 輝夫・小野 裕	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生	
講義室			授業形態	演習	備考			
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					森林環境学や生態学の側面からアプローチしている論文を読解し, 山岳環境保全学に関する論文の作成方法やプレゼンテーション能力を向上させることができるようになる。		
授業の概要	・山岳環境保全学の基礎となる森林生態学、植物生態学、植生学、森林環境学、森林土壌学、砂防学等について、外書等各種論文を中心に先端的研究成果を学習する。 ・講読する論文に関して、意義・位置付け・方法・結果・考察というストーリーをに沿ってレジюмеを作成し、プレゼンテーションを行う。 ・プレゼンテーションに基づき、研究内容・到達点と問題点・について議論を行う。							
Contents:	1. Introduction 2. Seminar for writing and presentation 3,4. Reading -Forest Ecology- 5,6. Reading -Forest Environment- 7. Reading -Erosion control- 8. Reading -Forest hydrology 9,10. Reading -Plant Ecology- 11. Prepare for presentation 12. Presentation -Forest Ecology- 13. Presentation -Forest Environment- 14. Presentation -Erosion control and Forest hydrology- 15. Presentation -Plant Ecology-							
授業計画	第1回：本演習の目的と概要説明、論文検索の方法 第2回：論文作成方法の解説と演習 第3回：論文講読（森林生態学分野 - 植生構造 - ） 第4回：論文講読（森林生態学分野 - 森林動態 - ） 第5回：論文講読（森林環境学分野 - 環境変動 - ） 第6回：論文講読（森林環境学分野 - 年輪解析 - ） 第7回：論文講読（砂防学分野 - 土砂移動 - ） 第8回：論文講読（砂防学分野 - 水循環 - ） 第9回：論文講読（植物生態学分野 - 生活型 - ） 第10回：論文講読（植物生態学分野 - 群落構造 - ） 第11回：レジюме作成とプレゼンテーションの準備 第12回：プレゼンテーションと評価（森林生態学分野） 第13回：プレゼンテーションと評価（森林環境学分野） 第14回：プレゼンテーションと評価（砂防学分野） 第15回：プレゼンテーションと評価（植物生態学分野），授業アンケート							
成績評価の方法	作成する英文論文のレジюмеおよびプレゼンテーションの内容によって評価します。							
成績評価の基準	英文論文の要約が的確にできていれば「水準にある」，プレゼンテーションが明確で理解しやすい内容となっていれば「やや上にある」，他の論文を引用し議論をふかめていれば「かなり上にある」，さらに今後の課題やその解決方法に言及していれば「卓越している」。							
事前事後学習の内容	論文講読においては，課題となる論文を十分に読み込み，質問事項等を整理しておいてください。							
履修上の注意	論文講読におては，正確に訳すことに心がけてください。また，プレゼンテーションのための資料（パワーポイント）作成においては，聞き手の立場に立って作成するよう心がけてください。複数の教員が担当しますので，内容の変更等があるばあいは，それぞれの教員から通知されます。							
質問,相談への対応	下記のメールにて質問を受け付けます。 安江 恒：yasue@shinshu-u.ac.jp 荒瀬輝夫：tearase@shinshu-u.ac.jp 小野 裕：hiroono@shinshu-u.ac.jp 福山泰治郎：tjrfkym@shinshu-u.ac.jp							
学生へのメッセージ	論文作成および発表についての基礎的技術を習得することが目的です。他院生の発表は非常に参考となります。							
【教科書】	特になし。必要に応じてプリント資料等を配付します。							
【参考書】	特になし。							